

**IBM XIV Storage System**  
管理ツール



**ユーザー・ガイド**

バージョン 4.0



**IBM XIV Storage System**  
管理ツール



## **ユーザー・ガイド**

バージョン 4.0

**お願い**

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、49 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

本書は、IBM XIV Storage System 管理ツール バージョン 4、リリース 0、モディフィケーション 0 および新しい版で明記されない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

**原典：** SC27-4230-00  
IBM XIV Storage System  
Management Tools  
User Guide  
Version 4.0

**発行：** 日本アイ・ビー・エム株式会社

**担当：** トランスレーション・サービス・センター

第1刷 2012.11

© Copyright IBM Corporation 2012.

# 目次

図	v	System Machine Account	29
本書について	vii	サーバー・ログの収集	29
本書の対象読者	vii	監査ログの表示	30
本書の規則	vii	サーバー・データベースのバックアップ	31
前提条件および関連資料	vii	ルート・パスワードの変更	34
情報、ヘルプ、およびサービスの入手	xi	保守パスワードの変更	34
第 1 章 概要	1	Multi-System Manager サービスの開始/終了	34
第 2 章 定義	3	セキュリティー証明書の置き換え	34
第 3 章 管理ツールの仕様	5	通信ポートの変更	35
Multi-System Manager の仕様	5	Multi-System Manager のアップグレード	36
GUI の仕様	6	VM のシャットダウン	37
第 4 章 マネジメント・ツールのインストール	9	Multi-System Manager ホストのリポート	37
Multi-System Manager 仮想アプライアンスのインストール	9	Server Admin のオペレーション	37
Multi-System Manager のインストール	10	サーバー管理者メニューでのオペレーションの選択	37
ステップ 1	10	システム・インベントリー・リスト	38
ステップ 2	11	インベントリーへのシステムの追加	38
ステップ 3	11	インベントリーのシステムの変更	39
ステップ 4	15	インベントリーからのシステムの削除	39
ステップ 5	16	システムのモニター状態を中断	39
ステップ 6	18	中断された XIV システムのモニターの再開	39
ステップ 7	20	すべてのユーザーの再認証	40
インストールの完了	22	System Machine Account パスワードの変更	40
インベントリーの初期化	22	server admin パスワードの変更	41
別の IBM XIV Multi System Manager のインストール	24	監査ログの表示	41
第 5 章 Multi-System Manager のオペレーティング	27	メンテナンス・ユーザーのオペレーション	41
root ユーザーのオペレーション	27	メンテナンス・タスクの実行	41
root ユーザー・メニューからのオペレーションの選択	27	第 6 章 マルチ・システム構成	43
サーバー構成オプション	28	ユーザー関連情報のマルチシステム構成	43
		マルチ・システムへのユーザーの追加	44
		ユーザーのパスワードの編集、削除または変更	44
		大量コピー・貼り付け構成	45
		特記事項	49
		商標	51
		索引	53





1. IBM XIV Multi-System Manager . . . . .	1	2. クロス・サイト・ハイ・アベイラビリティ	25
---	---	------------------------	----





---

## 本書について

本書では、IBM XIV 管理ツール 4.0 のインストールおよび使用方法について説明します。本書では、新規コンポーネントである IBM® XIV® Multi-System Manager および関連する XIV GUI 機能について説明します。

---

## 本書の対象読者

本書は XIV システムを管理するストレージ・アドミニストレーター向けです。

---

## 本書の規則

以下の注記では、重要な情報を強調表示します。

**注:** この注記は、重要なヒント、ガイダンス、またはアドバイスを示します。

**重要:** この注記は、不都合なまたは困難な状態を避けるために役立つ情報またはアドバイスを提供します。

**重要:** この注記は、プログラム、装置、またはデータに損傷をもたらす可能性を示します。損傷が起りうる指示または状態の前には警告通知が表示されます。

---

## 前提条件および関連資料

製品マニュアル、他の IBM 資料、および Web サイトに、IBM XIV Storage System に関連する情報が記載されています。

PDF ファイルを表示するには、Adobe Reader が必要です。これは、Adobe Web サイト ([get.adobe.com/reader/](http://get.adobe.com/reader/)) から無料でダウンロードできます。

### インフォメーション・センター



IBM XIV Storage System Information Center Web サイト  
([publib.boulder.ibm.com/infocenter/ibmxiv/r2/index.jsp](http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/ibmxiv/r2/index.jsp))

IBM XIV Storage System インフォメーション・センターで、すべての製品資料を表示することができます。

### 資料

インフォメーション・センターで参照することができる情報は、PDF 形式の資料のセットでも入手することができます。資料および関連情報 Web ページ ([publib.boulder.ibm.com/infocenter/ibmxiv/r2/topic/com.ibm.help.xiv.doc/xiv\\_pubsrelatedinfoic.html](http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/ibmxiv/r2/topic/com.ibm.help.xiv.doc/xiv_pubsrelatedinfoic.html)) のインフォメーション・センターでは、以下の PDF を参照できます。

#### IBM XIV Storage System

- *IBM XIV Storage System Product Overview*

この資料には、IBM XIV Storage System のハードウェアおよびソフトウェアの概要が含まれます。

- *IBM XIV Storage System 計画ガイド*

このガイドでは、IBM XIV Storage System モデル 281x-A14 および モデル 281x-114 に関するインストール要件を定義します。迅速かつ信頼性の高い取り付け作業ができるように、すべての要件を確実に満たすことが重要です。

- *IBM XIV Storage System アプリケーション・プログラミング・インターフェースのリファレンス*

このリファレンスは、XIV Open API を使用して CIM ベースのアプリケーションを開発する場合に役立ちます。

- *IBM XIV Storage System XCLI Reference Guide*

このリファレンスでは、XIV システムを管理および保守するために使用する IBM XIV コマンド行インターフェース (XCLI) システムとユーティリティー・コマンドについて、コマンド構文、パラメーターの説明、出力の説明、および例を含めて説明しています。

- *IBM XIV Storage System XCLI User Manual*

このガイドでは、XIV システム とユーティリティー・コマンドを実行するための IBM XIV コマンド行インターフェース (XCLI) の使用方法について説明しています。

- *IBM XIV Storage System Safety Notices*

この資料では、IBM XIV Storage System に関するすべての標準の安全上の注意について説明しています。

- *IBM XIV Storage System Remote Support Proxy Installation and User's Guide*

このガイドでは、IBM XIV Storage System リモート・サポート・プロキシ をインストール、構成、および使用して、XIV システムを XIV リモート・サポート・センターに接続する方法について説明しています。

- *IBM XIV 管理ツール ユーザー・ガイド*

本書では、IBM XIV 管理ツールのインストールと使用方法について説明します。本書では、新規コンポーネントである、IBM XIV Multi-System Manager、および関連する XIV GUI 機能について説明しています。

## ホスト・ソフトウェア・ソリューション

- *Host Attachment Guide*

このガイドでは、IBM XIV ホスト接続キット (HAK) の準備、インストール、および使用方法について説明しています。このガイドでは、AIX、HP-UX、Linux、Solaris、および Windows をサポートしています。また、VMware ESX および ESXi のユーザーに対する付録も含まれています。

- *IBM Storage Management Pack For Microsoft System Center Operations Manager User Guide*

このガイドでは、IBM Storage Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager (SCOM) のインストール、構成、および使用について説明しています。

- *IBM XIV Storage System Remote Mirroring for VCS Installation Guide*

このインストール・ガイドは、IBM XIV リモート・ミラーのための Veritas Cluster Server (VCS) Enterprise Agent のインストールおよび構成方法について説明しています。

- *IBM Storage Device Driver for VMware VAAI Installation Guide*

このガイドでは、IBM Storage Device Driver for VMware VAAI のインストールおよび構成方法について説明しています。

- *IBM Storage Provider for VMware VASA Installation Guide*

このガイドでは、IBM Storage Provider for VMware VASA のインストールおよび構成方法について説明しています。

- *IBM Storage Enabler for Windows Failover Clustering User Guide*

このガイドでは、IBM Storage Enabler for Windows Failover Clustering (旧称「MSCS Agent」) について説明し、その詳しい使用方法とベスト・プラクティスを記載しています。

- *IBM Storage Management Console for VMware vCenter User Guide*

この資料では、IBM Storage Management Console for VMware vCenter のインストール、構成、および使用について説明しています。

- *IBM XIV Adapter for VMware vCenter Site Recovery Manager (SRM) Installation Guide*

このガイドでは、IBM XIV Adapter for VMware vCenter Site Recovery Manager の準備、インストール、構成、および使用方法について説明しています。

- *IBM XIV Provider for Microsoft Windows Volume Shadow Copy Service Installation Guide*


このガイドでは、Microsoft Windows VSS の IBM XIV プロバイダーのインストールおよび構成方法について説明しています。

## IBM Redbooks 資料および技術資料


IBM XIV Storage System に関するさまざまな IBM Redbooks® 資料、Redpaper、ホワイト・ペーパーが入手可能です。追加の資料については、IBM XIV Storage System Web サイト ([www.ibm.com/systems/storage/disk/xiv/](http://www.ibm.com/systems/storage/disk/xiv/))を参照してください。

-  *IBM XIV Storage System: Architecture, Implementation, and Usage* ([www.redbooks.ibm.com/abstracts/sg247659.html](http://www.redbooks.ibm.com/abstracts/sg247659.html))


この Redbooks 資料は、ハードウェア・コンポーネントのグリッド・アレイに基づくスケーラブル・エンタープライズ・ストレージ・システムである XIV システムの概念、アーキテクチャー、および実装について説明しています。

-  *IBM XIV Storage System with the Virtual I/O Server and IBM i*  
([www.redbooks.ibm.com/redpieces/abstracts/redp4598.html](http://www.redbooks.ibm.com/redpieces/abstracts/redp4598.html))

この Redbooks 資料は、Virtual I/O Server (VIOS) を介して IBM i オペレーティング・システムに XIV システムを接続する方法について説明しています。多数の小さな IBM i パーティションを持つ IT センターでは、VIOS を介した接続が特に便利です。VIOS を使用する場合、ファイバー・チャンネル・ホスト・アダプターは、VIOS にインストールすることができ、VIOS への仮想接続を使用している多くの IBM i クライアントで共有することができます。

-  *XIV Storage System: Host Attachment and Interoperability*  
([www.redbooks.ibm.com/redpieces/abstracts/sg247904.html](http://www.redbooks.ibm.com/redpieces/abstracts/sg247904.html))


この Redbooks 資料では、XIV システムをさまざまなホスト・オペレーティング・システム・プラットフォームに接続し、データベースおよび他のストレージ指向アプリケーション・ソフトウェアと組み合わせて使用方法を説明しています。また、IBM XIV Storage System を他のストレージ・プラットフォーム、ホスト・サーバー、またはゲートウェイと組み合わせるためのソリューションも記載しています。

-  *IBM XIV Storage System: Copy Services and Migration*  
([www.redbooks.ibm.com/abstracts/sg247759.html](http://www.redbooks.ibm.com/abstracts/sg247759.html))

この Redbooks 資料では、お客様のビジネス継続性、データ・マイグレーション、およびオンライン・バックアップを強化するために、さまざまなデータ保護シナリオに対応する IBM XIV Storage System のコピーおよびマイグレーション機能について説明しています。これらの機能には、ポイント・イン・タイム・コピー (スナップショットおよびフル・ボリューム・コピーとも呼ばれます) および同期モードまたは非同期モードのリモート・コピー機能が含まれます。また、この資料では、スナップショット機能を IBM Tivoli® FlashCopy® Manager、組み込みマイグレーション機能、および IBM SAN ボリューム・コントローラーに基づいたマイグレーション代替策に統合する方法も説明しています。

## 関連 Web サイト

以下の Web サイトを表示して、XIV システムに関する詳細情報を入手してください。

-  IBM XIV Storage System Web サイト ([www.ibm.com/systems/storage/disk/xiv/](http://www.ibm.com/systems/storage/disk/xiv/))

この Web サイトを使用して、フィーチャーおよびハードウェア・サマリーを含む XIV システムに関する情報を入手します。この Web サイトには、ホワイトペーパー、Redbooks 資料、および製品資料へのリンクもあります。

-  IBM サポート・ポータル Web サイト ([www.ibm.com/storage/support](http://www.ibm.com/storage/support))

この Web サイトを使用して、ダウンロード可能ファイル、問題の送信と追跡へのリンク、およびサポート電話番号と連絡先を入手します。

-  IBM Systems Storage フォーラム Web サイト ([www.ibm.com/developerworks/forums/forum.jspa?forumID=846](http://www.ibm.com/developerworks/forums/forum.jspa?forumID=846))

このフォーラムを使用して、精通した熟練者と意見を共有し、最新の IBM ストレージ・ソリューションがどのようにお客様のビジネス課題に対応できるかを見つけることができます。フォーラム・トピックには、ストレージ管理、ストレージ・バーチャリゼーション、事業継続性、インフラストラクチャーの単純化、ディスク・ストレージ・システム、およびストレージ・ソフトウェア製品とソリューションがあります。

---

## 情報、ヘルプ、およびサービスの入手

ヘルプ、サービス、技術支援、または IBM 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、その手助けとなるさまざまな情報ソースを見つけることができます。以下の Web サイトを表示して、IBM 製品およびサービスに関する情報を入手し、最新の技術情報とサポートを見つけることができます。

- IBM Web サイト ([ibm.com](http://ibm.com)<sup>®</sup>)
- IBM サポート・ポータル Web サイト ([www.ibm.com/storage/support](http://www.ibm.com/storage/support))
- IBM Directory of Worldwide Contacts Web サイト ([www.ibm.com/planetwide](http://www.ibm.com/planetwide))



## 第 1 章 概要

IBM XIV 管理ツール バージョン 4.0 は IBM XIV Multi-System Manager を導入し、大規模にかつマルチサイトに展開された XIV を統合管理することで、複雑な運用の軽減およびキャパシティー・プランニングを向上させます。管理ツールは、以下を実現します。

- 全社的な XIV システムの統合管理へとパラダイム・シフトします。
- 管理対象の XIV システムを横断してイベントおよびアラートを統合することで、効果的なヘルス・モニター機能を提供します。
- スマートフォンやタブレットへと管理のスケールビリティを拡張します。



次の図は、IBM XIV Multi-System Manager が XIV GUI および XIV システムと相互作用する方法を説明しています。

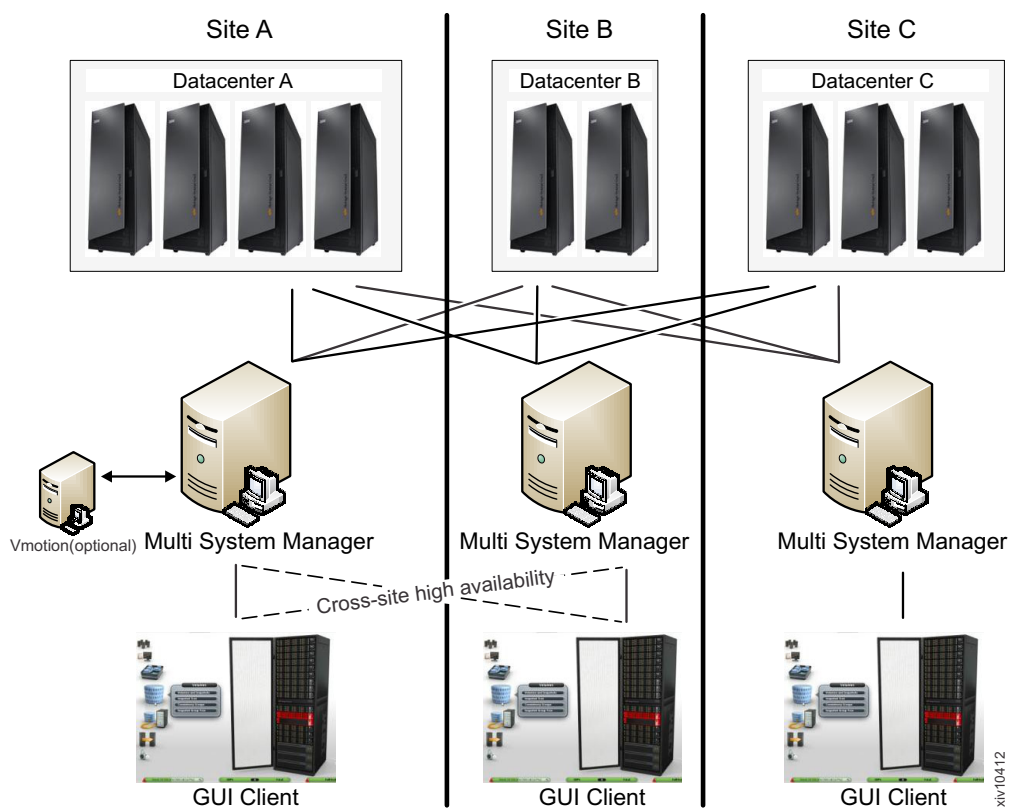


図 1. IBM XIV Multi-System Manager





---

## 第 2 章 定義

本書では、以下の定義を一般的に使用しています。

### Multi-System Manager Admin (Server Admin ともいう)

Multi-System Manager インベントリーおよび構成の責任を持つユーザー/LDAP ロール。最低 1 人にこのロールを割り付けてください。以下を実施してください。

- Multi-System Manager の静的ユーザー・パスワードを構成します。
- LDAP のインストール時の構成で、LDAP にロールを構成して、Multi-System Manager のグループヘロールをバインドします。こちらを参照してください: 9 ページの『第 4 章 マネジメント・ツールのインストール』(この方法では、複数のサーバー管理者が必要になる可能性があります)。

サーバー管理者は、SSH を使用して (こちらを参照してください: 37 ページの『サーバー管理者メニューでのオペレーションの選択』) または Multi-System Manager インストール時に与えられた資格情報でログインした GUI を使用して、Multi-System Manager およびそのインベントリーを構成できます。

サーバー管理者は、以下のいずれかになれます。

- すべての (または限定された) XIV システムに対する権限がない、すなわち GUI にシステムが表示されない一般の Multi-System Manager ユーザー (ローカルまたは LDAP のいずれかを使用して定義)。このユーザーは、GUI を使用して Multi-System Manager およびそのインベントリーを構成できます。
- XIV において "ストレージ管理者" として定義されたユーザー。このユーザーは GUI を使用して、権限を持つ XIV と並列の Multi-System Manager を管理できます。
- System Machine Account (`xiv_msms` ユーザー) と同等のユーザー - このユーザーにより Multi-System Manager インベントリーに追加されたすべての XIV を管理できます。

### システム・マシン・アカウント

Multi-System Manager インベントリー内のすべての XIV システムをモニターする XIV ユーザー。このユーザーは、構成データのみをポーリングするために、すべての XIV システムを認証します。

- このユーザーは、構成を変更しません。
- このユーザー名は、`xiv_msms` にハードコーディングされています。
- このユーザーは、LDAP を使用して定義できます。
- このユーザーには、ストレージ管理者ロールが (`admin` ユーザーと同様) 必要です。
- このユーザーには、Multi-System Manager インベントリー内のすべての XIV システムにおいて同じパスワードを定義する必要があります。

- このユーザーは、(GUI または CLI を使用して) Multi-System Manager に定義される必要があります。

#### 診断/修復の認証問題

インベントリー内のすべての XIV システム間における System Machine Account 認証の問題を修正しようとする GUI のプロセス

- このオペレーションを起動するには、管理者資格情報を使用する必要があります。
- これらの資格情報は、System Machine Account をご使用のすべての XIV に自動的に追加するために使用されます (必要な場合)。
- LDAP 認証を使用する XIV システムがある場合、System Machine Account をご使用の LDAP ディレクトリーに手動で追加するように通知されます。

#### 新規システムのディスカバー

Multi-System Manager がユーザーは認証されていないと認識しているすべてのシステムの前に、Multi-System Manager が特定のユーザーを認証するプロセス。

- このボタンは、「**Systems**」 > 「**Preferences**」ダイアログに配置されています。
- このボタンは、ユーザーがシステムのアクセス・リストに追加されたと分かり、このシステムを GUI 画面に表示する必要がある場合にのみ使用します。この処理は自動的に実施されません。認証エラーにより LDAP がロックする問題の可能性があるのでです。
- プロセスが正常終了すると、以前 GUI で表示されなかったシステムに対するアクセス権限がユーザーに付与された場合、これ以後そのシステムが表示されるようになります。

---

## 第 3 章 管理ツールの仕様

管理ツールのデプロイメントには、以下の仕様が含まれています。

- Multi-System Manager
- ダイレクト・モードおよびサーバー・モードの場合の IBM XIV GUI 仕様

---

### Multi-System Managerの仕様

Multi-System Manager のデプロイメントは、ESX Server (VMWare Hypervisor のみ) 上の仮想アプライアンスとして実行されます。このデプロイメントのために、デフォルトで 4GB メモリーおよびデュアル・コア CPU を備えています。

このデプロイメントの直後に、Multi-System Manager を使用して管理する XIV システムの数によって、仕様を更新します。

#### 最大 60 システム

メモリー - 4 GB

CPU - デュアル・コア

#### 61-100 システム

メモリー - 6 GB

CPU - クワッド・コア

#### 101-120 システム

メモリー - 6 GB

CPU - 6 コア

#### 121-144 システム

メモリー - 8GB

CPU - 6 コア

#### その他の仕様

- Multi-System Manager、バージョン: 4、i4、4.1、i4.1、i5 をホストする ESX (VMware) Server。
- VM ディスク・サイズ - 76 GB
- オープンする必要があるポート:
  - アウトバウンド/インバウンド: RMI - 1199-1209
  - インバウンドのみ: SSH/SCP - 22
  - アウトバウンドのみ: SMTP - 25
  - XIV システムとの通信 - 7778
- モニターする Multi-System Manager および XIV システム間の許容待ち時間: 最大 200 ms
- 1 台のサーバーに接続される最大 GUI 数 - 15
- 1 台のサーバーで管理される XIV システムの最大数 - 144

---

## GUI の仕様

Management Tool は、ダイレクト・モードまたはサーバー・モードのいずれかで実行されます。以下は、それぞれの詳しい仕様です。

### ダイレクト・モード

CPU デュアル・コア

メモリー

最大 20 システム  
500MB

21-40 システム  
800MB

41-81 システム  
1.1GB

ダイレクト・モードのシングル XIV GUI がモニターする XIV システムの最大数:  
81

ベスト・プラクティス: IBM XIV では、60 システムより多い場合、サーバー・モードで Multi-System Manager および XIV GUI を使用することをお勧めします。

### サーバー・モード

CPU デュアル・コア

メモリー

300MB

シングル XIV GUI および Multi-System Manager 間で許容される待ち時間:  
最大 50ms

## XIVGUI、XCLI、XIVTOP をサポートする OS

### Windows

- Windows 2000 x86-32
- Windows XP x86-32
- Windows XP x86-64
- Windows Server 2003 x86-32
- Windows Server 2003 x86-64
- Windows Server 2008 x86-32
- Windows Server 2008 x86-64
- Windows 7 x86-32
- Windows 7 x86-64
- Windows Vista x86-32
- Windows Vista x86-64

CPU: 32 ビット・デュアル・コアまたは同等品、64 ビット。

### Linux

- Linux Red Hat 5 x86-3
- Linux Red Hat 5 x86-6

**Mac OS:** MAC OS X 10.6 または 10.7、Java バージョン 1.6 を使用

**CPU:** 32 ビット・デュアル・コアまたは同等品

**JAVA 最小要件:** JAVA バージョン 6\_build 29

### **XCLI のみをサポートする追加 OS**

**AIX OS:** AIX 5.3、AIX 6.1、AIX 7.1

**Solaris OS:** Solaris 10

**CPU:**SPARC、x64

**HPUX OS:** HPUX 11i v3

**CPU:** IA64



---

## 第 4 章 マネジメント・ツールのインストール

IBM XIV Multi-System Manager の導入では、IBM XIV 管理ツールを使用する 2 つの方法があります。

### サーバー・モード

IBM XIV Multi-System Manager と連動するために GUI を移動します。

### ダイレクト・モード

IBM XIV Multi-System Manager と連動せずに GUI を使用します。このモードでは、XIV システムは GUI によって直接管理されます。

本書は、サーバー・モードでの作業方法について説明します。

Multi-System Manager のインストールは、以下の項目から構成されています。

1. Multi-System Manager 仮想アプライアンスのインストール
2. Multi-System Manager のインストール
3. Multi-System Manager インベントリーの初期化

---

## Multi-System Manager 仮想アプライアンスのインストール

VM 上に Multi-System Manager をインストールする前に、VM 自体をインストールする必要があります。

### 始める前に

1. 次のファイル入手します: XIV\_Multi-System-Manager\_<version>.zip
2. VMWare vSphere クライアントにアクセス可能なローカル PC へファイルを unzip します。

これで次のフォルダーが作成されます: XIV\_Multi-System-Manager フォルダーには、\*.ovf のデプロイメント・プロセスで使用される 3 つのファイル、本書および追加フォルダー LICENSES にはライセンスの使用に関する追加の注記が含まれています。

### このタスクについて

仮想マシンのインストールでは、Multi-System Manager の *ovf* イメージをご使用の VMWare ESX へ導入します。

### 手順

1. ご使用の VMWare ESX 上へ \*.ovf を展開します (シン・プロビジョン VMDK はサポートされます)。
2. VM をブートします。
3. VMWare コンソールでログインします: user=root、password=xivmsRoot
4. 画面にウィザードが開きます。次のセクションの手順に従います。

## Multi-System Manager のインストール

このタスクの目的は、プリインストールされた VM 上に Multi-System Manager をインストールすることです。

### 手順

ウィザードの初期画面が、インストール手順の全体を説明します。

```
-----  
----- IBM XIV Multi-System Manager v1.1.0.x -----  
-----  
  
Welcome to the IBM XIV Multi-System Manager installation procedure.  
  
This setup will guide you through the installation process.  
  
Required Steps  
-----  
Step 1: License Agreement  
Step 2: Password Change  
Step 3: Networking  
Step 4: Activation  
Step 5: Server Administrator user/group  
Step 6: NTP & Regional Settings  
Step 7: SMTP  
  
Proceed? [Y/N] >
```

「Y」をクリックして先へ進むか、または「N」をクリックして拒否します。

## ステップ 1

インストールのステップ 1 では、ご使用条件の承認が必要です。

### 手順

1. 「Enter」をクリックして、Multi-System Manager のご使用条件を表示します。

```
-----  
----- IBM XIV Multi-System Manager v1.1.0.x -----  
-----  
  
----> Step 1: License Agreement  
      Step 2: Password Change  
      Step 3: Networking  
      Step 4: Activation  
      Step 5: Server Administrator user/group  
      Step 6: NTP & Regional Settings  
      Step 7: SMTP  
  
Step 1 - License Agreement  
-----  
  
Hit [ENTER] to view license agreement for using IBM XIV Multi-System Manager  
Press any key to continue
```

2. ご使用条件を読んだ後、「1」をクリックして承認するか、または、「2」をクリックして拒否します。



注: ご使用条件を承認しない場合、Multi-System Manager のインストールまたは使用は許可されません。

## ステップ 2

インストールのステップ 2 では、**root** パスワードを変更します。

### 手順

新規パスワードを入力し、その後新規パスワードを再入力します。

```
-----  
----- IBM XIV Multi-System Manager v1.1.0.x -----  
-----  
  
Step 1: License Agreement  
----> Step 2: Password Change  
Step 3: Networking  
Step 4: Activation  
Step 5: Server Administrator user/group  
Step 6: NTP & Regional Settings  
Step 7: SMTP  
  
Step 2 >> Password Change  
-----  
  
Please change root password. You cannot proceed to the next step until changing it  
successfully.  
New password:  
Retype new password:
```

## ステップ 3

インストールのステップ 3 では、ネットワークを構成します。

## 手順

1. 最初に、Static IP または DHCP のどちらかを選択します。

```
-----  
----- IBM XIV Multi-System Manager v1.1.0.x -----  
-----  
  
Step 1: License Agreement  
Step 2: Password Change  
----> Step 3: Networking  
Step 4: Activation  
Step 5: Server Administrator user/group  
Step 6: NTP & Regional Settings  
Step 7: SMTP  
  
Step 3 -Network Configuration  
-----  
  
#-----  
# Active Network configuration:  
#-----  
# IP mode  
# Hostname  
  
1) Configure Static IP  
2) Configure DHCP  
3) Return (not supported, installation mode)  
Setup/Network/IP>
```

2. Static IP を選択した場合、IP アドレスを入力する必要があります。IP アドレスを入力して続けます。

```
-----  
----- IBM XIV Multi-System Manager v1.1.0.x -----  
-----  
  
Step 1: License Agreement  
Step 2: Password Change  
----> Step 3: Networking  
Step 4: Activation  
Step 5: Server Administrator user/group  
Step 6: NTP & Regional Settings  
Step 7: SMTP  
  
Step 3 -Network Configuration  
-----  
  
#-----  
# Active Network configuration:  
#-----  
# IP mode  
# Hostname  
  
Configure static IP address  
Enter IP address []:
```

- a. これで IP が入力されました。静的 IP に関連するネットマスク、ゲートウェイおよび DNS パラメーターを入力します。画面の質問に従ってください。

```

----- IBM XIV Multi-System Manager v1.1.0.x -----
-----

Step 1: License Agreement
Step 2: Password Change
---> Step 3: Networking
Step 4: Activation
Step 5: Server Administrator user/group
Step 6: NTP & Regional Settings
Step 7: SMTP

Step 3 -Network Configuration
-----

#-----
# Active Network configuration:
#-----
# IP mode
# Hostname

#-----
# New Network configuration:
#-----
# IP mode          STATIC
# IP address       1.1.1.1
# Netmask          1.1.1.1
# Gateway          1.1.1.1
# Domain search list  ibm.com xiv.ibm.com
# Domain name servers 1.1.1.1 2.2.2.2
# Hostname

Configure DNS addressess
1) Add domain to search list
2) Remove domain from search list
3) Add name server
4) Remove name server
5) Clear name servers and domain search list
6) Continue to hostname configuration
Setup/Network/DNS>

```

DNS、IP、ゲートウェイおよびネットマスクの構成に続いて、完全修飾ホスト名の入力、その後構成を承認します。

- b. 「Y」をクリックして承認し、次のステップへ進みます。

```

----- IBM XIV Multi-System Manager v1.1.0.x -----
-----
Step 1: License Agreement
Step 2: Password Change
---> Step 3: Networking
Step 4: Activation
Step 5: Server Administrator user/group
Step 6: NTP & Regional Settings
Step 7: SMTP

Step 3 -Network Configuration
-----

#-----
# Active Network configuration:
#-----
# IP mode
# Hostname

#-----
# New Network configuration:
#-----
# IP mode          DHCP
# Domain search list  ibm.com xiv.ibm.com
# Domain name servers 1.1.1.1 2.2.2.2
# Hostname

Is the configuration correct? [Y/N] :

```

「N」をクリックすると、上記インストールのステップ 3 の最初に戻ります。

- 上記ステップ 1 で DHCP を選択した場合、hostname を入力し「Y」をクリックして確認します。

```

----- IBM XIV Multi-System Manager v1.1.0.x -----
-----

Step 1: License Agreement
Step 2: Password Change
---> Step 3: Networking
Step 4: Activation
Step 5: Server Administrator user/group
Step 6: NTP & Regional Settings
Step 7: SMTP

Step 3 -Network Configuration
-----

#-----
# Active network configuration
#-----
# IP mode                NONE
# Hostname
# Domain search list
# Domain name servers

#-----
# New network configuration
#-----
# IP mode                DHCP
# Hostname                myHostname
# Domain search list     Automatically retrieved
# Domain name servers    Automatically retrieved

Is the configuration correct? [Y/N] :

```

## ステップ 4

インストールを続けるには、Multi-System Manager を活動化する必要があります。

### このタスクについて

活動化するには、利用可能なネットワーク接続と最低 1 つの XIV システムが (ログイン ID とパスワードのセットと合わせて) 必要です。ログインが成功すると、Multi-System Manager が活動化されて、インストールを進められます。

**注:** ログインが失敗した場合、以下の手順を実行します。

- 活動化を再試行する。再試行が失敗した場合、次の手順を実行します。
- ネットワーク設定の再構成。

### 手順

このステップでは Multi-System Manager を活動化するために、XIV システムへ接続します。

```
----- IBM XIV Multi-System Manager v1.1.0.x -----
-----
Step 1: License Agreement
Step 2: Password Change
Step 3: Networking
----> Step 4: Activation
Step 5: Server Administrator user/group
Step 6: NTP & Regional Settings
Step 7: SMTP

Step 4 -Product Activation
-----

In order to activate IBM XIV Multi-System Manager you need to supply any valid XIV
address, user and password.
The Manager will try to connect to this XIV.
If succeeded - Manager would be activated successfully.
You must have a working networking configuration in order to activate the product.

Please enter any XIV system IP/DNS >
```

XIV システムへの接続が失敗した場合、Multi-System Manager ネットワーク設定を再構成するか、または別の IP、ユーザーおよびパスワードのセットを使うことができます。

```
Please enter any XIV system IP/DNS >system-demo
Please enter user to login to system system-demo >admin
Please enter password to user admin, system system-demo >

You failed to activate IBM XIV Multi-System Manager
Please select course of action:
1) Re-configure Networking
2) Re-activate
3) Exit Installation
```

活動化が成功すると、インストールを進められます。

```
IBM XIV Multi-System Manager was activated successfully
Press [ENTER] to continue with the installation
```

## ステップ 5

この手順では、Multi-System Manager の Server Administrator を定義します。

### このタスクについて

Server Administrator (定義についてはこちらを参照してください: 3 ページの『第 2 章 定義』) は、Multi-System Manager に定義されているシングル・ユーザーまたは LDAP に定義されたユーザー・グループのいずれかにできます。

```
-----
----- IBM XIV Multi System Manager v1.1.0.x -----
-----

Step 1: License Agreement
Step 2: Password Change
Step 3: Networking
Step 4: Activation
---> Step 5: Server Administrator user/group
Step 6: NTP & Regional Settings
Step 7: SMTP

Step 4 -Server Admin configuration
-----

1) Configure user/password
2) Configure LDAP
3) Return (not supported, installation mode)
Setup/Credentials>
```

注: admin ユーザーの LDAP グループのインストールおよび構成を完了するために、インストール後にはいつでも root メニューを使用してローカル・ユーザーとパスワードを設定できます。

**手順**

Server Administrator を構成するために、静的ユーザーおよびパスワードを使用するかまたは LDAP を使用するか、いずれかを選択します。

- 1. 「1) Configure user/password」オプションを選択します。静的ユーザーおよびパスワードを入力します。

```
-----
----- IBM XIV Multi System Manager v1.1.0.x -----
-----

Step 1: License Agreement
Step 2: Password Change
Step 3: Networking
Step 4: Activation
---> Step 5: Server Administrator user/group
Step 6: NTP & Regional Settings
Step 7: SMTP

Step 4 -Server Admin configuration
-----

1) Configure user/password
2) Configure LDAP
3) Return (not supported, installation mode)
Setup/Credentials>1

Enter Username: admin
Changing password for admin.
New password:
Retype new password:
```

- 2. 静的ユーザーおよびパスワードを構成する場合、このステップはスキップします。このステップでは、LDAP を構成します。この例では、選択したサーバー・タイプは Microsoft Active Directory です。

```

----- IBM XIV Multi System Manager v1.1.0.x -----
-----

Step 1: License Agreement
Step 2: Password Change
Step 3: Networking
Step 4: Activation
----> Step 5: Server Administrator user/group
Step 6: NTP & Regional Settings
Step 7: SMTP

Step 4 -Server Administrator (LDAP) Configuration
-----

#-----
# Active LDAP Configuration:
#-----
# LDAP server type      Microsoft_Active_Directory
# LDAP status           Disabled

1) Enable LDAP Authentication
2) Disable LDAP Authentication
3) Test Configuration
4) Apply all
5) Exit without saving
Setup/Credentials/LDAP>1
Select LDAP Server Type
          (1) Microsoft Active Directory
          (2) Sun Directory
          (3) Open-LDAP Server

:1
Configuring Microsoft Active Directory parameters
Enter FQDN address [myFQDN.com]:
Enter Server Address [myServer.com]:
Enter Search DN [DC=something,DC=some,DC=thing,DC=com]:
Enter Service User DN [CN=User Name,OU=...,OU=Users,DC=...,DC=...,DC=...,DC=com]:
Enter Password:
Confirm Password:
Enter ID Attribute [sAMAccountName]:
Enter Group Attribute [memberOf]:
Enter Server Admin DN Role [CN=LDAPGroup,OU=Groups, DC=...,DC=...,DC=...,DC=com]:
Enter Search Time Limit (sec) [30]:
Enter currBindTimeLimit (sec) [1200]:

```

**注:** LDAP の構成では、Server Admin DN ロール (定義についてはこちらを参照してください: 3 ページの『第 2 章 定義』) を提供します。サーバー管理者としてのこのロールを追加された LDAP ユーザーを識別するため、このロールは LDAP へ構成された同じロールにする必要があります。

## ステップ 6

このステップでは、NTP および地域設定を入力します。利用可能な NTP を選択するかまたは静的日時を構成します。さらに、タイム・ゾーンを定義する必要があります。



## 手順

1. 「2」をクリックして、タイム・ゾーンを設定します。

```
1) Enable NTP
2) Timezone
3) Change Date&time
4) Apply Changes
5) Return (not supported, installation mode)
Setup/Regional Settings>
```

2. グローバル地域の選択

```
Please identify a location so that time zone rules can be set correctly.
Please select a continent or ocean.
1) Africa
2) Americas
3) Antarctica
4) Arctic Ocean
5) Asia
6) Atlantic Ocean
7) Australia
8) Europe
9) Indian Ocean
10) Pacific Ocean
11) none - I want to specify the time zone using the Posix TZ format.
```

3. 次に、グローバル地域の中から国を選択します。

注: さらに細かい地域を選択することがあります。

4. 静的日時ではなく NTP を構成する場合、このステップの以下の指示に従ってください。そうでない場合は、次のステップへ進みます。「1」をクリックして NTP を使用可能にします。

```
-----
----- IBM XIV Multi System Manager v1.1.0.x -----
-----

Step 1: License Agreement
Step 2: Password Change
Step 3: Networking
Step 4: Activation
Step 5: Server Administrator user/group
---> Step 6: NTP & Regional Settings
Step 7: SMTP

Step 6 -NTP & Regional Configuration
-----

#-----
# Active NTP/Regional configuration:
# -----
# NTP status          DISABLED
# Date                12/31/2012 23:59:59
# Timezone            UTC

Configure NTP servers
1) Add NTP server
2) Remove NTP server
3) Return to previous menu
Setup/Regional Settings/NTP>
```

上記のメニュー・オプションを使用して、ご使用の編成に NTP サーバーを一つずつ追加します。完了した場合、「3」をクリックして「NTP & Regional Settings」メインメニューに戻ります。

5. NTP 設定ではなく静的日時を構成する場合、「3」をクリックして日時を構成します。

```
Configure Date & Time
Local date&time is: <current date and time> Please enter a new date in format:
mm/dd/yyyy 24H:MM:SS >
```

**注:** NTP を構成する場合、日時の構成は必須ではありません。次のリブートで、NTP 設定が有効になります。

6. 変更を確認し（「NTP & Regional Settings」メインメニューで）、その後「4」をクリックして変更を適用します。また、構成を変更するために、前のいずれの手順も繰り返すことができます。

## ステップ 7

次のステップは、SMTP の構成です。

### このタスクについて

SMTP 構成は、構成した宛先に E メール送信を可能にするために使用されます。サービスが障害の場合、使用される SMTP E メールは、次の通りです。

#### サーバーが稼働中

件名 [Watchdog Message] Service xivms is up and running properly.

本文: Component: component-name was started successfully and is up and running.

#### サーバーがダウン

件名: [Watchdog Message] Attention: service xivms stopped functioning properly.

本文: Component: component-name stopped.

#### サーバーは低ディスク・スペース

件名: [Watchdog Message] Attention: low disk space.

本文: Disk space passed the configured threshold max% and its usage now is: used%.

**注:** このステップは必須ではありません。

## 手順

1. 「1」をクリックして SMTP 構成を使用可能にします。

```
-----  
----- IBM XIV Multi System Manager v1.1.0.x -----  
-----  
  
Step 1: License Agreement  
Step 2: Password Change  
Step 3: Networking  
Step 4: Activation  
Step 5: Server Administrator user/group  
Step 6: NTP & Regional Settings  
---> Step 7: SMTP  
  
Step 6 -SMTP Configuration  
-----  
  
#-----  
# Active SMTP configuration:  
# -----  
# SMTP status          DISABLED  
  
1) Enable SMTP configuration  
2) Apply All  
3) Return without saving  
Setup/SMTP>
```

2. 以下の項目から選択します。

- SMTP 宛先の追加 - SMTP アドレスとポートを入力するよう求められます。その後、宛先メニューへリダイレクトされます。
- 宛先の削除 - 宛先 E メール・アドレスを削除します。
- すべての宛先を削除 - すべての宛先を削除します。
- 確認メールの送信 - SMTP 構成が有効かテストするためにテスト・メールを送信します。
- 継続 - インストールを先に進めます。
- 前のメニューに戻る - 構成を取り消します。

```
#-----  
# New SMTP configuration:  
#-----  
# SMTP status          ACTIVE  
# SMTP server          1.1.1.1  
# SMTP port            25  
# Sender                sender@myDomain.com  
# Destinations          destination@myDomain.com  
  
Configure SMTP destinations  
  
1) Add destination  
2) Remove destination  
3) Remove all destinations  
4) Send confirmation mail  
5) Continue  
6) Return to previous menu  
Setup/SMTP/Destinations>
```

## インストールの完了

ここでインストールが完了します。

### 手順

任意のキーを押します。

```
Congratulations!  
-----  
  
You successfully installed IBM XIV Multi-System Manager v1.1.0.x  
You can now open any XIV GUI and point to the IP/DNS you configured just now  
Enjoy a world of multi system features!  
  
Press any key to continue
```

Multi-System Manager がリスタートします。

---

## インベントリーの初期化

XIV GUI をインストールし、Multi-System Manager と連動するように設定します。

### 始める前に

- 以前のバージョンの GUI を使用している場合: 以前の GUI を開いて、システム・リスト (「**File**」 > 「**Export Systems File**」) をご使用のローカル・ファイル・システム (後に Multi-System Manager へインポートされる) のファイルへエクスポートします。
- ベスト・プラクティス: インベントリー管理を容易にするために、各 GUI ユーザーには固有のユーザー名を割り当ててください。Multi-System Manager がユーザー名に関する役立つ情報を継続して提供するために、別々のユーザーに同じユーザー名を使用することはお勧めしません。

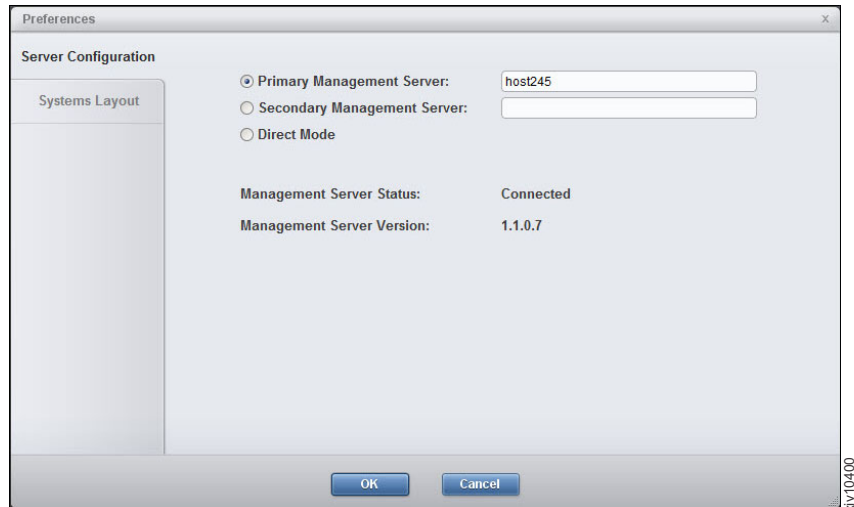
### このタスクについて

このタスクでは、以下の項目を説明します。

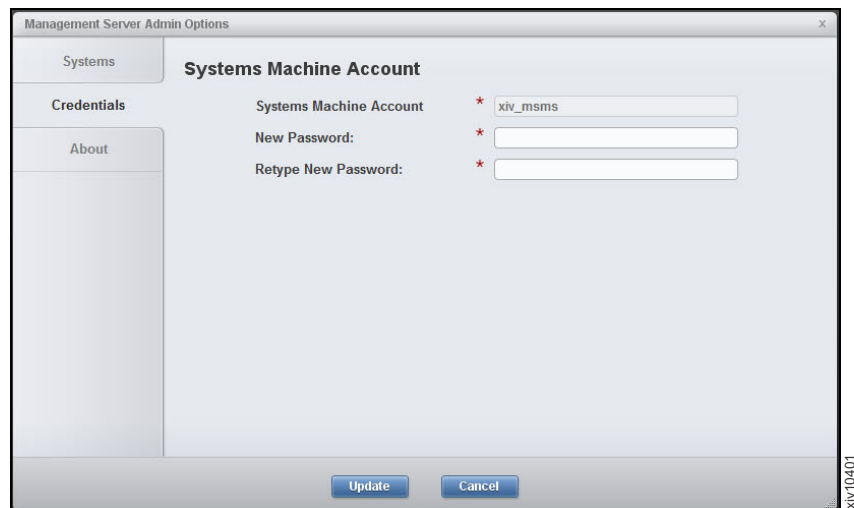
- XIV GUI のインストールと Multi-System Manager によって管理するための設定。
- Multi-System Manager のシステム・インベントリーの初期化。

### 手順

1. XIV GUI 4.0 をインストールして開きます。
2. Multi-System Manager インストレーション・ウィザードのステップ 4 (10 ページの『Multi-System Manager のインストール』のステップ 5 を参照) で構成した *Server Admin* (詳しくは 3 ページの『第 2 章 定義』トピックを参照) 資格情報を使用してログインします。
3. GUI を Multi-System Manager へ接続します。**Systems > Preferences** を開きます。1 次サーバー IP アドレスまたは hostname を記入し、「**Update**」をクリックします。

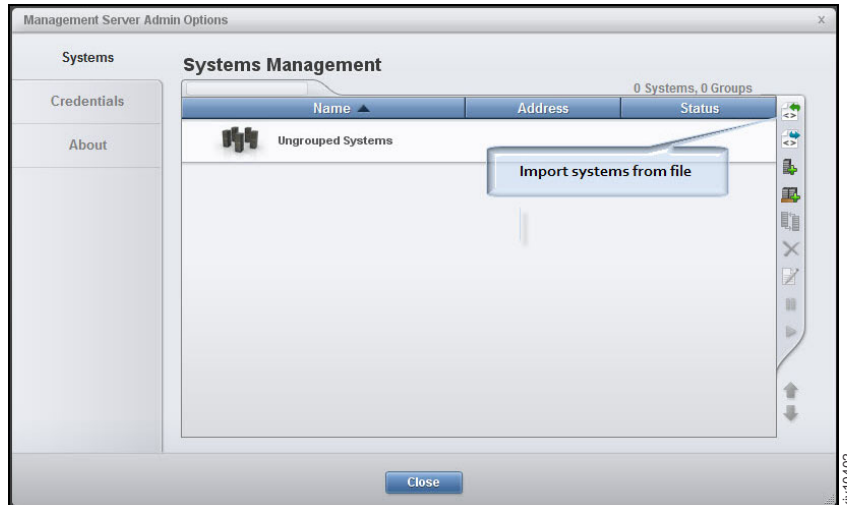


4. 新規の Systems Machine Account を決定します (これは、Multi-System Manager で Multi-System Manager をモニターするために使用されるシステム・ユーザーです)。「Systems」 > 「Server Admin Options」 > 「Credentials」へ進み、「Systems Machine Account」でパスワードを記入して、「Update」をクリックします。



注: この GUI 画面には、Multi-System Manager Server Admin (ここで定義を参照してください: 3 ページの『第 2 章 定義』) のみがアクセスできます。

5. 「Systems」 > 「Server Admin Options」 > 「Systems」を開き、「Import systems from file」をクリックします。以下のサブステップを実行します。
  - a. 以前にエクスポートしたシステム XML ファイルがある場合は続きます。そうでなければ、箇条書き b 項へジャンプします。XML ファイルを参照しインポートします。



- b. システムが追加された後に、システムが Authentication Error 状態になった場合、認証されていないシステムを選択し右クリックして、コンテキスト・メニューから「**Diagnose/Fix Authentication Error**」を選択します。詳しくは 3 ページの『第 2 章 定義』トピックの診断とプロセスの修正を参照してください。

---

## 別の IBM XIV Multi System Manager のインストール

インストール可能な Multi System Manager の数に制限はありません。各 Multi System Manager は、編成されているすべての XIV システムをモニターできます。Multi System Manager 間の冗長性はなく、通信もありません。

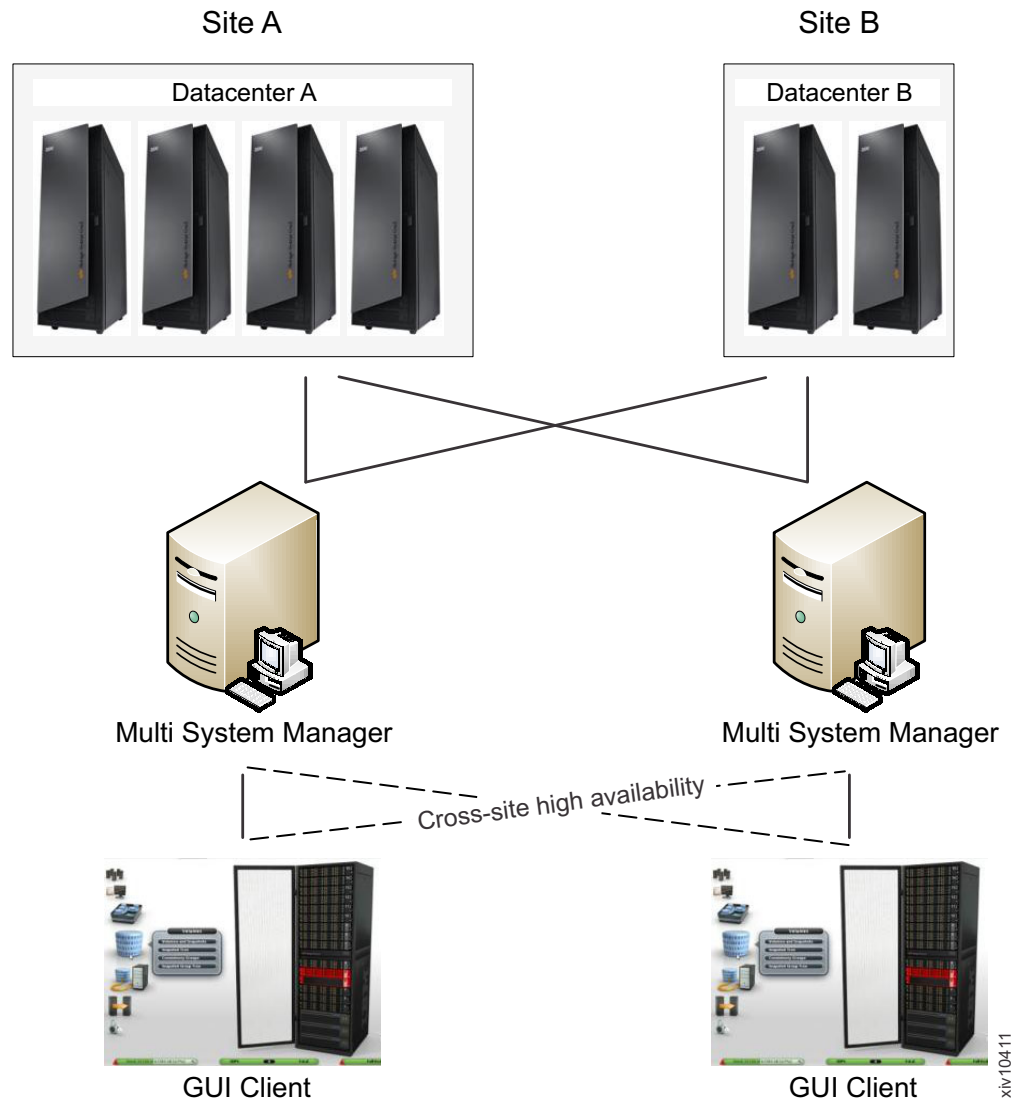


図2. クロス・サイト・ハイ・アベイラビリティ

GUI は、一方が反応しない場合の手動切り替えに使用するため、2 つの Multi System Manager (1 次および 2 次) に接続できます。このようにして、Multi System Manager のハイ・アベイラビリティを実現できます。

このアーキテクチャを使用することで、こちら側の GUI をリモート側に設置された別のサイトの Multi System Manager へ接続すること、またはリモート側に設置された別の GUI をこちら側のサイトの Multi System Manager へ接続することで、GUI のハイパフォーマンスを実現できます。





---

## 第 5 章 Multi-System Manager のオペレーティング

Multi-System Manager を使用すると、以下のユーザー間でタスクをアクセスおよび分散できます。

### root ユーザー

root ユーザーは OS スーパーユーザーであり、管理用タスクを実行します。

### Server Admin

Server Admin は、インベントリ構成タスクを実行します (定義についてはこちらを参照してください: 3 ページの『第 2 章 定義』)。

### メンテナンス・ユーザー

メンテナンス・ユーザーは、Multi-System Manager 構成タスクを実行します。このユーザーは、SFTP プロトコルを使用して Multi-System Manager のすべてオペレーションと対話するためのお客様の手段です (たとえば、ログの設定、アップグレード・ファイルのコピー、バックアップの入手など)。

さらに、以下の事項に注意してください。

### シェル・アクセスなし

Multi-System Manager ではどのユーザー・タイプも、シェルにアクセスできないようになっています。

### IBM 技術者のアクセシビリティ

技術者ユーザー・タイプは、サーバー・モードで GUI にアクセスできません。GUI には、ダイレクト・モードでアクセスが可能です。

---

## root ユーザーのオペレーション

### root ユーザー・メニューからのオペレーションの選択

#### 始める前に

- このメニューにアクセスするには、root 資格情報が必要です。

#### このタスクについて

Multi-System Manager root メニューを使用すると、システム管理オペレーションにアクセスできます。

## 手順

root 資格情報でログイン 画面に以下のメニューが開きます。

```
-----
----- IBM XIV Multi-System Manager v1.1.0.x -----
-----

Super user Menu
-----
IBM XIV Multi-System Manager is running

1) Server Configuration Options
2) System Machine Account
3) Gather Server Logs
4) Show Multi-System Manager Audit Log
5) Backup/Restore Options
6) Change 'root' Password
7) Change 'maintenance' Password
8) Start/Stop Multi-System Manager Service
9) Update Certificate
10) Change XIV GUI Communication Ports
11) Upgrade XIV Multi-System Manager
12) Reboot
13) Shutdown
14) Exit
Your Selection>
```

## 次のタスク

以下のセクションでは root ユーザーのオペレーションの実行方法を説明します。

## サーバー構成オプション

サーバー構成オプションを使用すると、Multi-System Manager インストールですでに実行したさまざまな構成手順へ戻れます。これらのスクリプトを使用すると、インストールの後にMulti-System Manager 構成を変更できます

## このタスクについて

このタスクでは、サーバー構成を変更できます。

## 手順

1. root メニューの「1」をクリックします。画面に 「Server configuration Menu」 が開きます。

```
-----
----- IBM XIV Multi-System Manager v1.1.0.x -----
-----

-----08/15/2012 07:19-----

Server Configuration Menu
-----
1) Network
2) Server Admin account
3) NTP & Regional Settings
4) SMTP
5) Exit
Your Selection>
```

2. 次のオプションから選択してください。サーバーの構成方法について詳しくは、本書の 10 ページの『Multi-System Manager のインストール』で参照できます。

- 1 Network
- 2 Server Admin account (定義についてはこちらを参照してください: 3 ページの『第 2 章 定義』)
- 3 NTP & Regional Settings
- 4 SMTP
- 5 Exit - スーパーユーザー・メニューに戻る。

## System Machine Account

System Machine Account はシステム・ユーザーであり、Multi-System Manager で Multi-System Manager をモニターするために使用されます。System Machine Account メニュー・オプションでは、このアカウントのパスワードを変更できます。

### このタスクについて

このタスクでは、System Machine Account パスワード (定義についてはこちらを参照してください: 3 ページの『第 2 章 定義』) を変更できます。

### 手順

1. root メニューの「2」をクリックします。ユーザー名が画面に表示され、パスワードを入力します。

```
Your Selection>2
User name: xiv_msms
Enter password:
```

注: このアカウントのユーザー名は、xiv\_msms にハードコーディングされています。

2. 画面の指示に従ってパスワードを再入力し、パスワードの変更を確認してください。

## サーバー・ログの収集

Gather Server Logs メニュー・オプションでは、サーバーのアクティビティのログを収集できます。

### このタスクについて

このタスクでは、サーバーのログを収集できます。メンテナンス・ユーザーがあとでログを収集することも可能です (こちらを参照してください 41 ページの『メンテナンス・タスクの実行』)。

### 手順

1. root メニューの「3」をクリックします。ログが収集されて、ファイル名が画面に表示されます。

```
Your Selection>3
Gathering IBM XIV Multi-System Manager logs...
Gather logs completed successfully
SFTP using 'maintenance' account and get the file:
logs/msms_logs_20120815_081641.tar.gz
Press any key to continue
```

2. 任意のキーを押して Super user メニューに戻ります。

## 次のタスク

メンテナンス・ユーザー資格情報を使用する SFTP で logs フォルダーからのログの収集。

## 監査ログの表示

このメニュー・オプションでは、Server Admin のアクティビティのログが表示されます。

### このタスクについて

監査ログでは、以下の Server Admin アクティビティが表示されます。

- インベントリへのシステムの追加
- システム・アドレスの変更
- インベントリからのシステムの削除
- システムのモニターの中断
- すべてのシステムのモニターの中断
- システムのモニターの再開
- すべてのシステムのモニターの再開
- インベントリからのすべてのシステムの削除
- System Machine Account 資格情報の設定
- ユーザー認証の無効化
- 特定のシステムへの System Machine Account ユーザーの追加

監査ログは、収集可能なファイルへ格納されます。29 ページの『サーバー・ログの収集』を参照してください。

### 手順

1. root メニューの「4」をクリックします。ログが収集されて、画面に表示されません。

```
Your Selection>4
18:05:13,924 admin Remove all systems from the inventory. [Success]
11:32:38,964 admin Remove system 9.151.133.239 from the inventory [Success]
11:32:48,423 admin Add system [mn00010:7778] to the inventory [Success]
11:33:07,202 admin Robot user credentials change
[Failed: Password was not changed]
11:34:39,320 admin Robot user credentials change [Success]
```

2. 任意のキーを押して、Super User メニューに戻ります。

## サーバー・データベースのバックアップ

Backup/Restore メニュー・オプションを使用すると、サーバー・データベースをバックアップでき、バックアップからそのデータベースをリストアできます。

### このタスクについて

Multi-System Manager データベースに格納された情報は、このメニューを使ってバックアップおよびリストアできます。このデータベースには、インベントリー構成が含まれています。サービスの継続性を保つためにバックアップすることで、インベントリーをリストアできて、災害から復旧できます。また、1 つの Multi-System Manager から別の Multi-System Manager へインベントリー構成をコピーするためにも使用できます。

### 手順

root メニューの「4」をクリックします。画面に Backup and Restore Menu が表示されます。

```
Backup and Restore Menu
-----
1) Backup
2) Restore
3) Schedule Daily Backup
4) Remove Scheduled Backup
5) Exit
Your Selection>
```

### 次のタスク

各メニュー・オプションについての詳細説明は、次のセクションを参照してください。

### バックアップ

バックアップ・メニュー項目では、データベースをバックアップできます。

### このタスクについて

デフォルトでスケジュールされたバックアップは、すでに毎日 23:30 に構成されています。さらに、このタスクを使用して、データベースをバックアップできます。

### 手順

1. 「1」をクリックしてデータベースをバックアップします。以下のバックアップ処理が実行されます。

```
Your Selection>1
Backing up...
Backup completed successfully
SFTP using 'maintenance' account and get the file: backup/BACKUP_20120815_082926.tar.gz
Press any key to continue
```

画面にバックアップ・ファイル名が表示されます。

2. 任意のキーを押して、Backup and Restore Menu に戻ります。

## 次のタスク

バックアップ・ファイルを複製できます。「メンテナンス」アカウントで SFTP を使用し、「backup」フォルダーからファイル入手します。

## 復元

リストア・メニュー項目では、バックアップからデータベースをリストアできます。

## 手順

1. 「2」をクリックしてデータベースをリストアします。 使用可能なバックアップ・ファイルは、メンテナンス・ユーザーによってアクセス可能なバックアップ・フォルダーに格納されており、これらは画面に表示されます。

```
Your Selection>2
Backup files to restore:
-----
BACKUP_20120815_085300.tar.gz
BACKUP_20120814_085000.tar.gz

Please select a backup file to restore >
```

2. リストアするファイルを選択します。

```
Please select a backup file to restore >BACKUP_20120815_085300.tar.gz
```

3. 「Y」をクリックして確認します。

4. 再確認します:

```
Are you sure you want to restore BACKUP_20120815_085300.tar.gz? [Y/N] : y

Restore DB is going to override your current configuration.
It is recommended to run a backup prior restoring.
Do you want to run backup of the current configuration before restoring? [Y/N] :
```

5. リストアが実行されます:

```
Backup files to restore:
-----
BACKUP_20120827_112834.tar.gz
BACKUP_20120827_112511.tar.gz
BACKUP_20120814_122049.tar.gz

Please select a backup file to restore >BACKUP_20120814_122049.tar.gz

Are you sure you want to restore BACKUP_20120814_122049.tar.gz? [Y/N] : y

Restore DB is going to override your current configuration.
It is recommended to run a backup prior to restoring.
Do you want to run backup of the current configuration before restoring? [Y/N] : y

Backing up...
Backup completed successfully
SFTP using 'maintenance' account and get the file: backup/BACKUP_20120827_112904.tar.gz
xivms v1.1.0.x is stopped

Restoring BACKUP_20120814_122049.tar.gz...
Restore completed successfully

Note: Systems Machine Account Password was not restored.

xivms v1.1.0.x is starting...
```

- 任意のキーを押して、**Backup and Restore** メニューに戻ります。

## 次のタスク

System Machine Account (定義についてはこちらを参照してください: 3 ページの『第 2 章 定義』) はリストアされないので、リストアが完了した後に再定義する必要があります。GUI または CLI のいずれかを使用して再定義できます。

### GUI から

インベントリ・セクションの初期化のステップ 4 22 ページの『インベントリの初期化』の説明に従います。

### CLI から

29 ページの『System Machine Account』へ進みます。

## 毎日のバックアップのスケジューリング

「Schedule Daily Backup」メニュー項目では、毎日のバックアップ・ジョブをスケジュールできます。デフォルトの毎日のバックアップは、23:30 に実行されます。

### 手順

- 「3」をクリックしてバックアップをスケジュールします。また、現行の毎日のバックアップ・スケジュールは、画面に表示されます。

```
Your Selection>3
Select time (HH:MM) to run backup every day [23:30]? >
```

- HH:MM 形式で新規バックアップ時間を選択します。

```
Your Selection>3
Select time (HH:MM) to run backup every day [23:30]? >14:00
Scheduled daily backup at 14:00
Scheduled daily backup folder cleaner at 14:50
Press any key to continue
```

注: バックアップ・フォルダーのクリーナー・ジョブは毎日実行され、最新の 30 個のファイルを残しそれ以外のすべてのファイルを削除します。

- 任意のキーを押して、Backup and Restore Menu に戻ります。

## スケジュールされたバックアップを削除

Remove Scheduled Backup メニュー項目では、毎日のバックアップ・ジョブを取り消すことができます。

### 手順

- 「4」をクリックしてスケジュールを削除します。

```
Your Selection>4
Removed scheduled backup
Press any key to continue
```

スケジュールは取り消されます。

- 任意のキーを押して、Backup and Restore Menu に戻ります。

## ルート・パスワードの変更

このメニュー・オプションでは、root ユーザーのパスワードを変更できます。

### 手順

1. root メニューの「5」をクリックします。
2. 新規パスワードを入力します。

## 保守パスワードの変更

このメニュー・オプションでは、メンテナンス・ユーザーのパスワードを変更できます。

### 手順

1. root メニューの「6」をクリックします。
2. 新規パスワードを入力します。

## Multi-System Manager サービスの開始/終了

このメニュー・オプションでは、Multi-System Manager サービスを開始 (または停止) できます。

### 手順

1. root メニューの「7」をクリックします。
  - a. サービスが起動されている場合、停止します。
  - b. または、サービスを開始します。
2. 確認します。

## セキュリティー証明書の置き換え

### このタスクについて

Multi-System Manager は、デフォルトの証明書で出荷されます。このタスクでは、デフォルト証明書とお客様の組織の証明書との置き換えを説明します。

### 手順

1. 新規証明書の手配
  - 証明書ファイルと鍵ファイルがあることを確認してください。
  - それら両方ともに PEM フォーマットであることを確認してください。そうでない場合、標準ツールを使用してご使用のフォーマットを PEM へ変換できます。
  - メンテナンス資格情報で SFTP を使用し、これらのファイルを upload フォルダーへ移動します。こちらを参照してください 41 ページの『メンテナンス・タスクの実行』。
2. root メニューの「8」をクリックします。



```
Your Selection>8

This menu option installs a new certificate
You need to prepare a certificate file and key file, both in PEM format.
You need to SFTP the files using 'maintenance' account to 'upload' folder.

Files found under 'upload' folder:
-----
certificate.tar.gz

Please enter key file name >
```

3. 要求に従って、証明書と鍵ファイルの名前を入力します。

## タスクの結果

Multi-System Manager セキュリティー証明書が置き換えられます。

## 通信ポートの変更

このタスクでは、Multi-System Manager を IBM XIV Storage Management GUI に接続することでポートを変更できます。

### このタスクについて

Multi-System Manager は、ポート 1199 から始まる 6 つ連続して予約されたポートを使用して XIV GUI へ接続されます。

### 手順

1. root メニューの「9」をクリックします。連続する 6 つの最初のポートの番号が、画面に表示されます。以下のスクリーン・ショットでは、この番号が 1199 になっています。

```
Your Selection>9

The communication between XIV GUI and the Multi-System Manager
is done via 6 consecutive, reserved ports.

Please enter a new starting port number [1199] >
```

2. 新規ポート番号を入力します。この例では、入力したポート番号が 1340 になっています。

```
Please enter a new starting port number [1199] >1340
```

また、6 つのポート番号の新規シーケンスである 1340 から 1345 が、画面に表示されます。

```
You are going to change the reserved ports from 1199-1205
to 1340-1346. Are you sure? [Y/N] >y
```

3. 「Y」をクリックして、置き換えを承認します。サービスをリスタートします。

```
You need to restart Multi-System Manager service in order for the changes
to take effect.
Do you want to restart service now? [Y/N] >
```

- 「Y」をクリックして、Multi-System Manager サービスをリスタートします。

## タスクの結果

サービスが再び作動すると、ポートの変更が完了します。

## 次のタスク

「System」 > 「Preferences」メニューを使用して、GUI を Multi-System Manager に接続する通信ポートを変更します。



Primary Management Server: myServer1 : 1199  
Secondary Management Server: : 1199  
Direct Mode

## Multi-System Manager のアップグレード

このメニュー・オプションでは、Multi-System Manager をアップグレードできます。

### 手順

- SFTP とメンテナンス・ユーザー資格情報を使用して、アップグレード・ファイルを upload フォルダへアップロードします。
- root メニューの「9」をクリックします。

```
Your Selection>9
This utility will run the upgrade procedure of IBM XIV Multi-System Manager
Backup database will run prior the upgrade
Press any key to continue
```

- 次に、アップグレード・ファイルが上記のようにアップロードされたという条件で、リストからファイルを選択します。

```
Backing up...
Backup completed successfully
SFTP using 'maintenance' account and get the file: backup/BACKUP_20120815_105757.tar.gz

Please upload the upgrade file (*.tar.gz) using SFTP and user 'maintenance'
to upload folder.
Press any key to continue

Files in upload folder
-----
XIV_Multi_System_Manager_Upgrade.tar.gz
XIV_Multi_System_Manager_Upgrade_1.2.tar.gz
dd.tar.gz

Please enter the name of the upgrade file >
```

- ファイル名を入力してください。

## タスクの結果

Multi-System Manager バージョンがアップグレードされます。

## VM のシャットダウン

このメニュー・オプションでは、VM をシャットダウンします。

## Multi-System Manager ホストのリブート

このメニュー・オプションでは、Multi-System Manager ホストをリブートできます。

### 手順

root メニューの「11」をクリックします。リブートされることを確認します。

---

## Server Admin のオペレーション

### サーバー管理者メニューでのオペレーションの選択

#### 始める前に

- このメニューにアクセスするには、administrator 資格情報が必要です。

#### このタスクについて

Multi-System Manager サーバー管理者 (定義については、こちらを参照してください。: 3 ページの『第 2 章 定義』) メニューは、インベントリー管理オペレーションへのアクセスを提供します。

#### 手順

administrator 資格情報でログインします。画面に以下のメニューが開きます。

```
-----  
----- IBM XIV Multi-System Manager v1.1.0.7 -----  
-----  
-----08/14/2012 07:03-----  
  
Server Administrator Menu  
-----  
IBM XIV Multi-System Manager is running  
  
1) System Inventory List  
2) Add System  
3) Modify System  
4) Remove System  
5) System Monitoring Suspend  
6) System Monitoring Resume  
7) Re-authenticate all Users  
8) System Machine Account  
9) Show Audit Log  
10) Change my password  
11) Exit  
  
Your Selection>
```

## 次のタスク

以下のセクションでは、管理者オペレーションの実行方法を説明します。

## システム・インベントリー・リスト

システム・インベントリー・リストには、Multi-System Manager によってモニターされている XIV システムとその状態が表示されます。

### このタスクについて

このタスクでは、インベントリー・リストを表示できます。

### 手順

1. Server Administrator メニューの「1」をクリックします。画面に「System Inventory List」が開きます。各システムに、名前、アドレス、状態および ID のリストが表示されます。

```
Your Selection>1
-----
Name            Addresses                Status                Id
-----
Gen3p1-04      Gen3p1-04,,             Authentication Failure Gen3p1-0
4::null:null
qa16           qa16,,                  Authentication Failure qa16::nu

Copy of the systems list:
logs/systems_list_201208161555.log by SFTP with 'maintenance' account.
Press any key to continue
```

またリストには、ファイルの格納場所およびメンテナンス・ユーザーがファイルを取り去る可能性があるというリマインダーも表示されます。

2. 任意のキーを押して、Server Administrator メニューに戻ります。

## インベントリーへのシステムの追加

このメニュー・オプションでは、XIV システムをインベントリーへ追加します。

### 手順

1. Server Administrator メニューの「2」をクリックします。新規システムを入力します。

```
Your Selection>2
Enter new system addresses in format: address1 [address2] [address3] >
```

2. 新規システムのアドレスを入力します。

### タスクの結果

システムはインベントリーに追加され、システム・インベントリー・リストに表示されます。

## インベントリーのシステムの変更

このメニュー・オプションでは、インベントリーに対し XIV システムを変更します。

### 手順

1. Server Administrator メニューの「3」をクリックします。 次のメッセージが画面に表示されます。

```
Your Selection>3
Enter system address/ID to modify >
```

2. システムのアドレスまたは ID を入力して、新規システムのアドレスを入力します。

```
Your Selection>3
Enter system address/ID to modify >qa16
Enter new addresses in format: address1 [address2] [address3] >
```

ここでシステムが変更されます。

## インベントリーからのシステムの削除

このメニュー・オプションでは、インベントリーから XIV システムを削除します。

### 手順

1. Server Administrator メニューの「4」をクリックします。 画面に次のメッセージが表示されます。

```
Your Selection>4
Enter system address/ID to remove (--all for all systems) >
```

2. シングル・システムを削除するために、アドレスまたは ID を入力します。または、--all を入力して、すべてのシステムを削除します。

## システムのモニター状態を中断

このメニュー・オプションでは、XIV System が Multi-System Manager からモニターされている状態を中断します。

### 手順

1. Server Administrator メニューの「5」をクリックします。 画面に次のメッセージが表示されます。

```
Your Selection>5
Enter system address/ID to suspend (--all for all systems) >
```

2. アドレスまたは ID を入力して、シングル・システムを中断します。または、--all を入力して、すべてのシステムを中断します。

## 中断された XIV システムのモニターの再開

このメニュー・オプションでは、中断された XIV システムのモニターを再開します。

## 手順

1. Server Administrator メニューの「6」をクリックします。画面に次のメッセージが表示されます。

```
Your Selection>6
Enter system address/ID to resume (--all for all systems) >
```

2. アドレスまたは ID を入力して、中断されたシングル・システムを再開します。または、--all を入力して、すべての中断したシステムを再開します。

## すべてのユーザーの再認証

このメニュー・オプションでは、インベントリー内のいずれかの XIV システム GUI にログインしているすべてのユーザーに対して強制的に再認証を実施します。

### このタスクについて

ユーザーに対する認証を変更しこれをすぐに有効にする場合、このオプションを使用します。

## 手順

1. Server Administrator メニューの「7」をクリックします。次のメッセージが画面に表示されます。

```
Your Selection>7
This option will force re-authentication of all logged-in users. Are you sure? [Y/N] >
```

2. 「Y」をクリックして先に進みます。再認証の注記が画面に表示されます。

```
Your Selection>7
This option will force re-authentication of all logged-in users. Are you sure? [Y/N] >y
Invalidated all authentication records.
Logged in users will be re-authenticated automatically.
Press any key to continue
```

## System Machine Account パスワードの変更

このメニュー・オプションでは、System Machine Account パスワードを変更します。

### このタスクについて

System Machine Account の定義についてはこちらを参照してください。3 ページの『第 2 章 定義』

パスワードは、root メニューからまたは GUI を使用のいずれかで変更できます。

さらに、パスワードはすべてのシステムで変更する必要があります。

## 手順

administrator メニューまたは GUI を使用するか選択します。

管理機能メニューから

こちらを参照してください: 29 ページの『System Machine Account』

## GUI から

1. Server Admin (定義については、こちらを参照してください: 3 ページの『第 2 章 定義』) 資格情報を使用して GUI にログインします。
2. メニュー「**Systems**」>「**Server Admin Options**」>「**Credentials**」に進みます。 System Machine Account (定義については、こちらを参照してください: 3 ページの『第 2 章 定義』) パスワードを記入して、「**Update**」をクリックします。
3. 新規パスワードを使ってシステムを再認証します。  
「**Systems**」>「**Server Admin Options**」>「**Systems**」を開きます。システムが Authentication Error 状態になってから、それらのすべてのシステムを選択します (CTRL または SHIFT キーを使用)。その後、右クリックしてコンテキスト・メニューから「**Diagnose/Fix Authentication error**」を選択します。詳しくは 3 ページの『第 2 章 定義』 トピックの診断とプロセスの修正を参照してください。

## server admin パスワードの変更

このメニュー・オプションでは、System Machine Account パスワードを変更します。

### 始める前に

注: このオプションは、LDAP ユーザーは使用できません。

### このタスクについて

#### 手順

1. Server Administrator Menu の「9」を選択します。
2. 現行のパスワードを入力し、その後新規パスワードを入力して、新規パスワードを確認してください。

## 監査ログの表示

このメニュー・オプションは、Multi-System Manager の Server Admin アクティビティのログを表示します。

### このタスクについて

このタスクはこちらで説明されています: 30 ページの『監査ログの表示』

---

## メンテナンス・ユーザーのオペレーション

### メンテナンス・タスクの実行

#### 始める前に

- 以下のタスクを実行するには、maintenance 資格情報が必要です。
- メンテナンス・ユーザーの初期パスワードは、xivmsMaintenance です。
- このユーザーが Multi-System Manager と対話するためのプロトコルには、SFTP のみが使用できます。

- root ユーザーを使用して、メンテナンス・ユーザーのパスワードをできる限り早く変更するようにしてください。こちらを参照してください: 34 ページの『保守パスワードの変更』

## このタスクについて

Multi-System Manager は、SFTP を使用したインバウンドおよびアウトバウンドのファイル配信に対応できます。このようなファイルの配信は、以下のタスクに必要です。

### サーバー・ログの収集

ログは、logs フォルダーから収集できます。

### システム・リストのログの表示

システム・リスト・オペレーションのログは、logs フォルダーから収集できます。

### データベースのバックアップ

バックアップ・ファイルは、Multi-System Manager の外部のいずれの場所にも収集し格納できます。

### データベースのリストア

このオペレーションでは、バックアップ・ファイルを検索します。バックアップ・ファイルは、Multi-System Manager に送信されなければならない場合があります。

### セキュリティ証明書の置き換え

セキュリティ証明書は、Multi-System Manager へ送信される必要があります。

### Multi-System Manager のアップグレード

アップグレード・ファイルは、Multi-System Manager へ送信される必要があります。

## 手順

上記の各オペレーションでは、関連するファイルが以下のディレクトリーへ送信またはディレクトリーから収集されることを確認してください。

**ログ** Multi-System Manager は、このディレクトリーにログを格納します。

### バックアップ

バックアップ・ファイルはここに書き込まれ、同様にリストア・オペレーションはここでファイルを検索します。

### アップロード

証明書およびアップグレード・ファイルは、ここに格納される必要があります。



---

## 第 6 章 マルチ・システム構成

マルチ・システム構成を使用すると、シングルクリックで多数の XIV システムの構成を変更できます。

### 始める前に

マルチ・システム構成では、以下の機能を使用できます。

- LDAP 構成
- サポート・パラメーター
- プール・アラートしきい値
- ユーザーの追加と編集
- ユーザー・パスワードの変更

### このタスクについて

- マルチシステム構成は、サーバー・モードおよびダイレクト・モードの GUI で実行できます。
- マルチ・システム構成では、関連する GUI システムへのアクセス権が必要です。

### 手順

以下のいずれかの方法で、大量構成を起動します。

- 選択したシステムでユーザー構成を変更します。これは、すべてのユーザー・オペレーション (パスワードの追加、編集、変更) に適用されます。
- LDAP / サポート / プール・アラートのしきい値の構成をコピーし、その構成を 1 つのシステムから特に選択されたシステムへ貼り付けます。

### 次のタスク

以下のいずれかのタスクを実行します。

- 『ユーザー関連情報のマルチシステム構成』
  - 44 ページの『マルチ・システムへのユーザーの追加』
  - 44 ページの『ユーザーのパスワードの編集、削除または変更』
- 45 ページの『大量コピー・貼り付け構成』

---

## ユーザー関連情報のマルチシステム構成

ユーザー関連情報をすぐにマルチ XIV システムに構成できます。

### このタスクについて

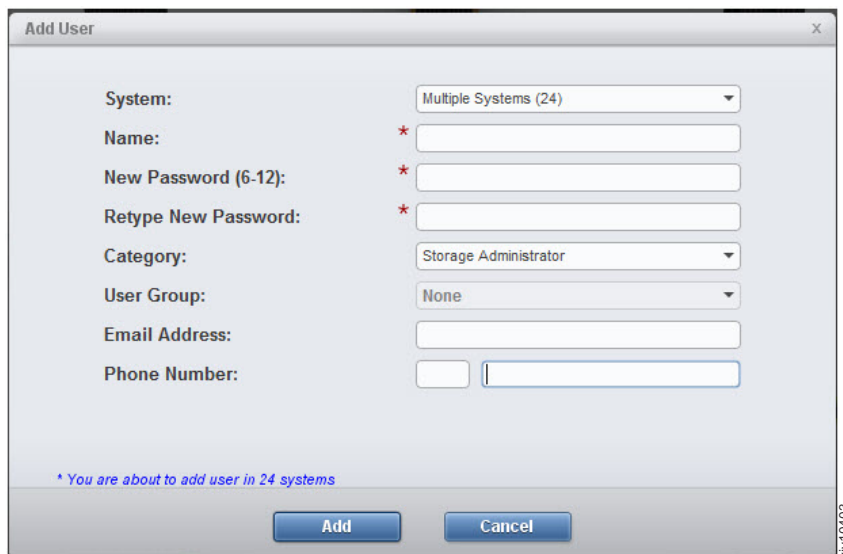
このタスクでは、ユーザー関連の情報をすぐにマルチ XIV システムに構成する方法を説明します。

## マルチ・システムへのユーザーの追加

同時にマルチ XIV システムへユーザーを追加できます。

### 手順

1. 構成するシステムを選択して、「Add User」をクリックします。「Add User」画面が開きます。
2. 画面表示に従って、ユーザー名、パスワードおよび他の詳細情報を入力します。「Add」をクリックします。



選択したシステムへ新規ユーザーが追加されます。

3. 画面に進行状況表示バーが表示されます。このステージで「Cancel」をクリックすると、大量構成処理は取り消されます。「Add」オペレーションが完了すると、画面に結果のサマリーが表示されます。「Show Results」ボタンをクリックすると、画面に明細報告書が開きます。

### タスクの結果

このタスクに従うことで、選択したシステムへユーザーが追加されました。

注: 大量構成処理はエラーでは停止せず、失敗する場合があってもすべてのシステムの構成を実行しようとします。

注: 貼り付けオペレーションの最中に GUI を閉じると、大量構成処理は不明な状態で終了します。このような場合、システムを調査して、適正に構成が完了したものは何で、さらに構成が必要なものは何かを検討するようにお勧めします。

## ユーザーのパスワードの編集、削除または変更

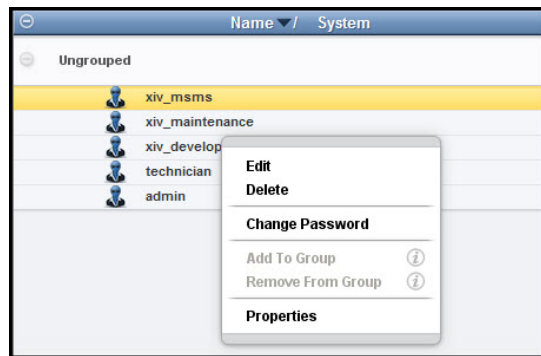
マルチ XIV システムでは、ユーザーの編集または削除やパスワードの変更をすぐにできます。

## 手順

1. GUI で、「**Access**」アイコンをマウスオーバーし、「**Users**」をクリックします。画面に「**Users**」ビューが開きます。
2. このビューに表示されるシステムを選択します。
3. CTRL キーを使用して、編集するユーザーを複数選択します。

注: ユーザーの大量編集は、同じユーザー名を持つユーザーにのみ適用できません。

4. ユーザー選択で右クリックし、「**Edit**」、「**Delete**」または「**Change password**」を選択します。



- **Delete** – 削除の進行を表示します。
- 「**Edit**」または「**Change Password**」 – ダイアログを表示します。詳細またはパスワードを編集し、「**Update**」をクリックします。
  - 画面に進行状況表示バーが表示されます。このステージで「**Cancel**」をクリックすると、大量構成処理は取り消されます。オペレーションが終了すると、画面に結果のサマリーが表示されます。「**Show Results**」ボタンをクリックすると、画面に明細報告書が開きます。

注: 編集、削除およびパスワード変更構成オプションを使用可能かは、アクセス権によって決まります。

## タスクの結果

このタスクに従うことで、選択されたシステムのユーザーが変更されました。

注: 大量構成処理はエラーでは停止せず、失敗する場合があってもすべてのシステムの構成を実行しようとします。

注: 貼り付けオペレーションの最中に GUI を閉じると、大量構成処理は不明な状態で終了します。このような場合、システムを調査して、適正に構成が完了したものは何で、さらに構成が必要なものは何かを検討するようにお勧めします。

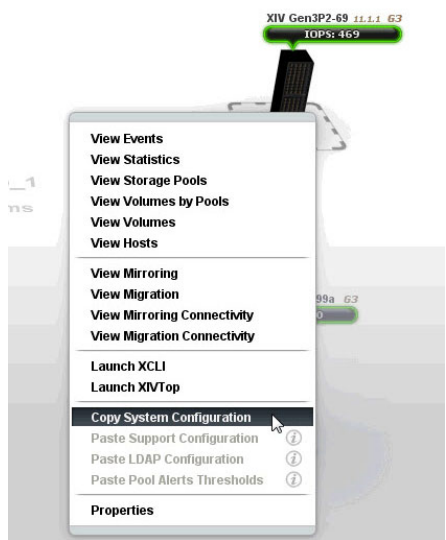
---

## 大量コピー・貼り付け構成

システム構成を 1 つのシステムからコピーし、マルチ XIV システムに貼り付けることができます。

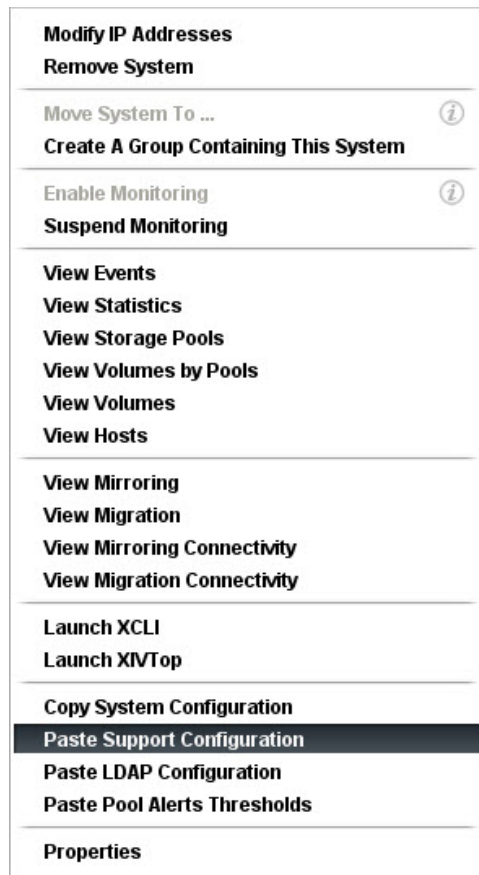
## 手順

1. XIV GUI で、システムを右クリックして、ポップアップ・メニューから「**Copy System Configuration**」を選択します。



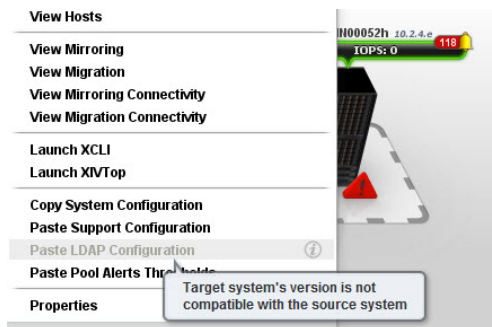
これでこのシステム構成はメモリーにコピーされ、ポップアップ・メニューは閉じます。

2. 構成をコピーする先のシステムを選択します。1つのシステム、または複数システムを右クリックして、ポップアップ・メニューから「**Paste ... Configuration**」を選択します。この例では、「**Paste Support Configuration**」が選択されています。

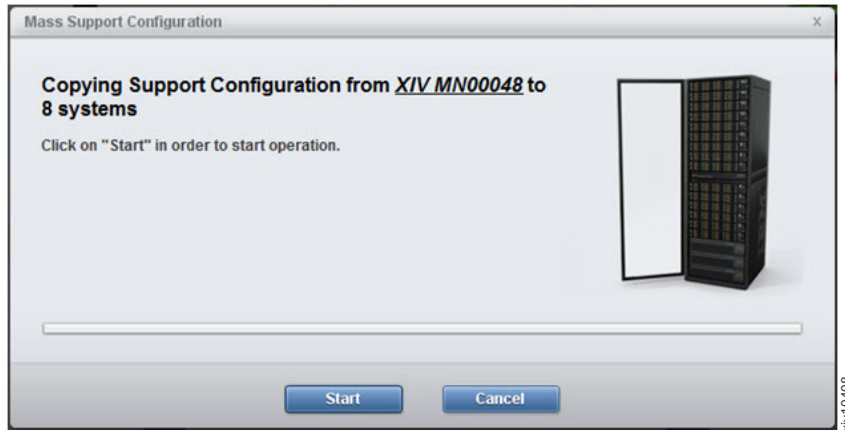


「Mass Support Configuration」画面が開きます。

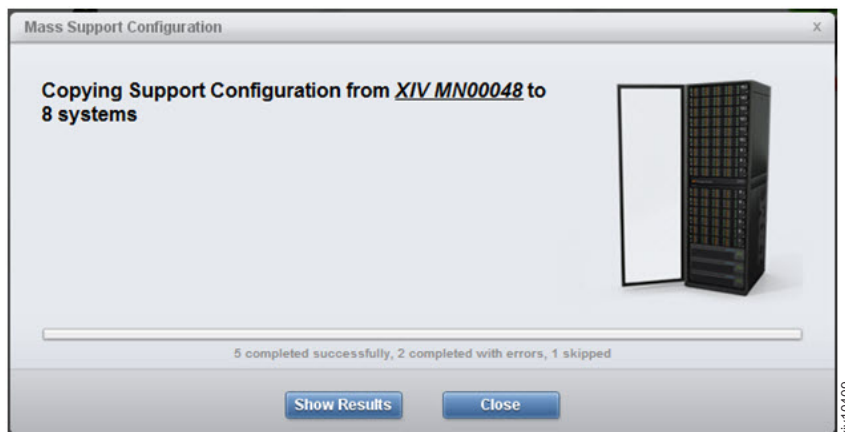
注: 貼り付けオプションがグレイアウトされている場合 (使用不可)、オプションをマウスオーバーしてその理由を説明するツールチップを表示します。この例では、「Paste LDAP Configuration」がグレイアウトされていて、ツールチップによるとターゲットのシステム・バージョンがソース・システムと互換性がないと表示されています。



3. 「Start」をクリックします。



画面に進行状況表示バーが表示されます。このステージで「**Cancel**」をクリックすると、大量構成処理は取り消されます。コピー操作が終了すると、スクリーンに結果のサマリーが表示されます。「**Show Results**」ボタンをクリックすると、画面に明細報告書が開きます。



## タスクの結果

このタスクに従って、1つのシステムの構成が他の複数のシステムへ展開されました。

**注:** 大量構成処理はエラーでは停止せず、失敗する場合があってもすべてのシステムの構成を実行しようとします。

**注:** 貼り付けオペレーションの最中に GUI を閉じると、大量構成処理は不明な状態で終了します。このような場合、システムを調査して、適正に構成が完了したものは何で、さらに構成が必要なものは何かを検討するようにお勧めします。

---

## 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

*IBM Corporation  
Almaden Research  
650 Harry Road  
Bldg 80, D3-304, Department 277  
San Jose, CA 95120-6099  
U.S.A.*

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の稼働環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。



---

## 商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名は、IBM または各社の商標です。現時点での IBM の商標リストについては、著作権および商標の情報 Web サイト ([www.ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml)) をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、および PostScript は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。



# 索引

日本語、数字、英字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

## [ア行]

アクセス制御 27  
アクティブ・ネットワーク構成 10  
アップロード  
    folder 34  
アップロード・ディレクトリー 41, 43  
アップロード・フォルダー 34  
インストール 9  
インストールが必要なステップ 10  
インストール手順 10  
インストール・ウィザード 10, 11, 12, 15, 16, 19, 20, 22  
インベントリー 3  
    システムの削除 39  
    システムの変更 39  
    システムのモニター状態を中断 39  
    すべてのユーザーの再認証 40  
    中断されたシステムのモニターの再開 40  
    にシステムを追加 38  
    XIV システムの 38  
インベントリーからのシステムの削除 39  
インベントリー構成 27  
インベントリーにシステムを追加 38  
インベントリーのシステムの変更 39  
ウィザード 10

## [カ行]

鍵ファイル 34  
仮想アプライアンス 9  
監査ログ 30  
監査ログの表示 30  
    Server Admin メニューからのアクセス 41  
管理ツール 1, 9  
関連情報 vii  
クローン・ジョブ 31, 34  
クワッド・コア 5  
ゲートウェイ 10, 12  
構成  
    複数の xiv システムの 44  
    マルチ xiv システムの 43, 46  
構成オプション 28

構成タスク 27  
構成のコピーおよび貼り付け 46

## [サ行]

サーバー 9  
サーバーが稼働中 20  
サーバーがダウン 20  
サーバー構成オプション 28  
サーバー構成タスク 27  
サーバーは低ディスク・スペース 20  
サーバー・モード 24  
サーバー・ログ 29  
サービス xivms の開始 31, 34  
サービス xivms の停止 31, 34  
シェル権限  
    いかなるものもなし 27  
資格情報 27  
システム管理タスク 27  
システムのモニター状態を中断 39  
システム・インベントリー・リスト 38  
システム・マシン・アカウント 3  
シャットダウン 37  
仕様 5, 6  
    管理ツール 5  
商標 51  
証明書ファイル 34, 37  
資料 vii  
診断/修復の認証問題 3  
ストレージ管理者 3  
すべてのユーザーの再認証 40  
静的 IP 12  
セキュリティ証明書 34  
前提条件 5, 6

## [タ行]

タイム・ゾーン 10, 19  
大量構成 43, 46  
タスク 27  
地域設定  
    構成オプション 28  
着信ファイル 41, 43  
注記  
    法規 49  
中断された XIV システムのモニターの再開 40  
通信ポート 35  
データベース 31, 32, 33, 34  
データベースのリストア 32, 33  
定義 3

デフォルト証明書 34  
デュアル・コア 5  
特記事項 51  
ドメイン検索リスト 10  
ドメイン・ネーム・サーバー 10

## [ナ行]

認証 10  
ネットマスク 10, 12  
ネットワーク  
    構成オプション 28

## [ハ行]

パスワード  
    ユーザーのパスワードの変更 45  
    server admin の 41  
    System Machine Account の 40  
バックアップ 31, 34  
バックアップ・ディレクトリー 41, 43  
発信ファイル 41, 43  
必須パラメーター  
    データベースをリストアするための 31, 34  
必要なステップ  
    インストール 10  
フォーラム vii  
ポート 35  
ホスト 37  
ホスト名 10

## [マ行]

待ち時間  
    許可 (前提条件として) 5  
    前提条件 5  
メンテナンス・ユーザー 27, 41

## [ヤ行]

ユーザー関連情報  
    の構成 44  
ユーザーの削除 45  
ユーザーのタスク 27  
ユーザーの追加 44  
ユーザーのパスワードの変更 45  
ユーザーの編集 45  
ユーザー・タイプ 27

## [ラ行]

リストア 31, 32, 33, 34  
リポート 37  
ログ  
    監査 30  
    収集 29  
ログ・ディレクトリー 41, 43

## [数字]

6 コア 5

## B

Backup and Restore Menu 31, 34  
Backup/Restore Options 27

## D

DHCP 12  
DNS パラメーター 12

## E

ESX 9  
ESX Server 5

## G

Gather Server Logs 27  
Gather Server Logs メニュー・オプション  
    29  
GUI 6, 9  
GUI 4.0 22, 36, 37

## I

IBM  
    社内ユーザー 27  
    担当員 27  
IBM XIV Multi System Manager vii, 9  
IBM XIV Multi-System Manager 1  
IBM XIV 管理ツール バージョン 4.0 1  
IBM XIV サポート 9  
IP アドレス 10  
IP モード 10

## L

LDAP 22, 27, 36, 37  
LDAP 以外のユーザー 22, 24, 36, 37  
LDAP サーバー・タイプ 10  
LDAP ディレクトリー 3

LDAP 認証 10  
LDAP 認証を無効にする 10  
LDAP 認証を有効にする 10  
LDAP ユーザー 22, 24, 36, 37  
Linux スーパーユーザー 27  
log  
    Server Admin アクティビティの 30

## M

Microsoft Active Directory 10  
mode  
    サーバー 24  
multi-site XIV デプロイメント 1  
Multi-System Manager データベース 31,  
    34  
Multi-System Manager のインストール  
    個別のステップ 28  
Multi-System Manager ホスト 37

## N

NTP 10, 19  
NTP & Regional Settings  
    構成オプション 28

## O

Open-LDAP Server 10  
OS 27  
ovf ファイル 5, 9

## P

PDF vii  
PEM フォーマット 34, 37

## R

root 27  
root 資格情報 9, 27  
root ユーザー 9, 10, 11

## S

SCP ポート 5  
Server Admin 27  
Server admin 3  
server admin アカウント  
    構成オプション 28  
server admin パスワードの変更 41  
Server Configuration Options 27  
SFTP 34, 41  
SFTP プロトコル 27

SMTP 10  
    構成オプション 28  
SMTP 構成 20  
SSH ポート 5  
Step 1: License Agreement 10  
Step 2: Password Change 11  
Step 3: Networking 12  
Step 4: Activation 15  
Step 5: Server Administrator  
    user/group 16  
Step 6: NTP & Regional Settings 19  
Step 7: SMTP 20  
Storage admin 40  
Sun Directory 10  
System Machine Account 27  
    パスワード 29  
System Machine Account パスワード 40  
System Machine Account パスワードの変  
    更 40  
system.xml 22, 36, 37

## T

tasks  
    メンテナンス・ユーザー 41

## V

VM 5, 9, 37

## X

XIV サポート 9  
XIV システム 38, 39, 40  
xiv システム  
    構成 43, 46  
xivms サービス 20  
xiv\_msms 3





Printed in Japan

SA88-4900-00



日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21